

報道関係者と民博との懇談会

2025 年 10 月 16 日(木)15:30～17:00

話題一覧

懇談会

1. 挨拶

— 関 雄二（館長） —

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子（議長） —

資料1

3. みんなく クラウドファンディング挑戦「国立民族学博物館 | 1000 年の時を越える文化財。海を渡り日本へ」

資料2

国立民族学博物館は、READYFOR（レディーフォー）株式会社と連携し、ウズベキスタンの世界遺産「カフィル・カラ遺跡」より出土した考古遺物の日本初公開を目指し、クラウドファンディングへの挑戦を開始したことをお知らせいたします。

火災をくぐり抜けた、奇跡の木彫板。

日本人が発掘に関わった、シルクロードのロマンを日本へ。

タイトル：国立民族学博物館 | 1000 年の時を越える文化財。海を渡り日本へ

募集期間：2025 年 9 月 16 日（火）10:00～11 月 17 日（月）23:00



— 寺村 裕史（学術資源研究開発センター 准教授） —

4. 公開フォーラム「世界の博物館 2025」

資料3

10 カ国・地域、11 名の博物館専門家が所属する博物館の活動や課題を報告しながら、互いに問題点を共有し、検討します。

日 程：2025 年 11 月 1 日（土）13 時～16 時 45 分（12 時 30 分開場）

会 場：本館 2 階第 4 セミナー室

主 催：国立民族学博物館／独立行政法人 国際協力機構

定 員：60 名（要事前申込み／先着順）

参加費：無料

【申込期間】10 月 23 日（木）まで



— 末森 薫（人類基礎理論研究部 准教授） —

5. 【館外開催】みんなく公開講演会「アジア・交錯する信仰と民族——共在のありかたを探る」

資料4

中国のイスラームと台湾の民間信仰に注目し、宗教と民族の地域横断的な関係や、民族や宗教の異なる人びとがいかに共にあることができるのかを考えます。



日 程：2025 年 10 月 31 日（金）
18 時 30 分～20 時 40 分（17 時 30 分開場）
会 場：日経ホール（東京）
趣旨説明・講演 1：奈良雅史（本館 准教授）
講 演 2：藤野陽平（慶應義塾大学 教授）
パネルディスカッション：
藤野陽平×島村一平（本館 教授）×奈良雅史
主 催：国立民族学博物館／日本経済新聞社
定 員：600 名（要事前申込み／先着順）
参加費：無料
【申込期間】10 月 22 日（水）まで
※館外での開催となります。オンライン（ライブ配信）あり

— 奈良 雅史（学術資源研究開発センター 准教授） —

6. 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と奈良県立民俗博物館との学術交流・協力に関する基本協定

資料5

奈良県立民俗博物館が収蔵する民俗資料の保存活用計画と、収蔵・保存対策を講じる体制の構築に関する研究の実施を目的として、基本協定を締結しました。

— 日高 真吾（学術資源研究開発センター 教授） —

『変わり者たちの秘密基地』

(樫永真佐夫 監修、ミンパクチャン 著/CE メディアハウス)

「収蔵点数 34 万超！ 展示場全長 5 キロ」の国立民族学博物館は、どのような博物館であり、研究所であるのか、インタビューに基づく内側の視点から一般読者に対してわかりやすく示したノンフィクションです。



— 樫永 真佐夫 (超域フィールド科学研究部 教授) —

8. 展示解説 企画展「フォルモサ∞アート——台湾の原住民藝術の現在 (いま)」

現在開催中の企画展の見どころを展示場にて解説します。

(ZOOM でのライブ配信も予定)

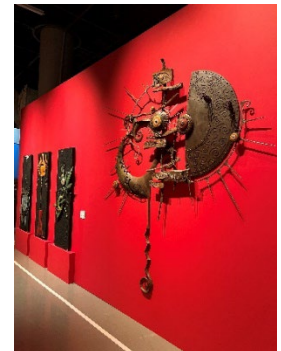
会 期：2025 年 12 月 16 日(火)まで

会 場：本館企画展示場

観覧料：一般 780 円、大学生 340 円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください

※本館展示もご覧いただけます



— 野林 厚志 (グローバル現象研究部 教授) —

※その他の配布資料 外来研究員受入一覧 (資料 7)、外国人研究員受入一覧 (資料 8)、刊行物報告書 (資料 9、資料 10)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp